

平成29年度河川環境学習報告

1 河川環境学習の目的

河川環境学習は、河川の調査活動を通して、次の3点を目的として行いました。

- ①身近な水辺と地域との関わりを深く知る。
- ②身近な水辺環境への関心を高める。
- ③水環境保全の態度を養う。

2 実施状況

- (1) 調査河川：県内の4河川
- (2) 実施学校：県内の小学校5校
- (3) 実施時期：平成29年11月～30年1月

3 河川環境学習の内容

河川環境学習では、上記の3つの目的の達成を目指し、環境省が提唱している総合的な河川調査法である「水辺のすこやかさ指標(2009)」を活用した評価の他、動植物や岩石の観察を行ったり、地元の方に話を聞いたりなど、できるだけ地域の特性や学校の要望に応じた活動を行っています。

水辺のすこやかさ指標とは、次の5軸より成り立っています。

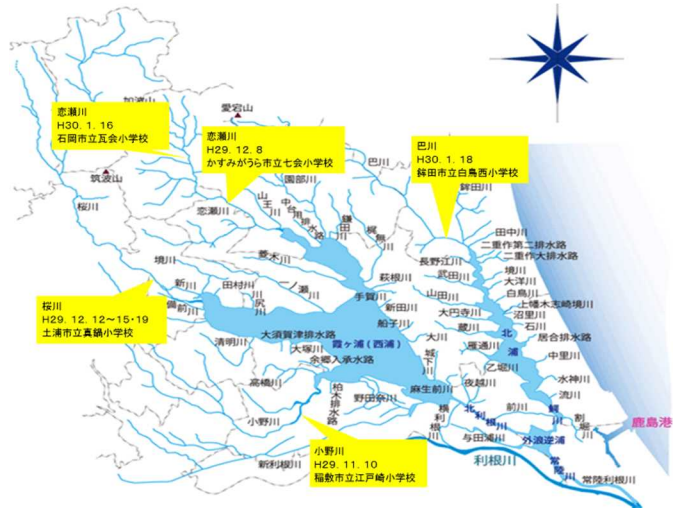
指標1 自然なすがた：自然がどのくらい残されているか

指標2 ゆたかな生きもの：生きものの豊かさはどうか

指標3 水のきれいさ：水のきれいさ、清らかさはどうか

指標4 快適な水辺：水環境のきれいさや静かさはどうか

指標5 地域とのつながり：水環境と人とのつながりはどうか



4 実施内容

○稲敷市立江戸崎小学校 5年生

実施時期：平成29年11月10日(金)

調査場所：岡見大橋(小野川中流, 牛久市) → 伊佐津(小野川下流, 稲敷市) → 古渡橋(小野川河口, 稲敷市)

小野川の中流である岡見大橋下の川底には、今から約12万年前に生息していた貝化石が露出しているため、化石の観察を通して、当時は海が県南の内陸部まで広がっていたことを説明しました。見つかる貝の種類は、いずれも現存しているものばかりですが、化石という響きが興味を掻き立てるのか、多くの児童が拾って持ち帰っていました。

稲敷市伊佐津では、江戸時代に伊佐津が河岸として栄えていたことから、当時この地がどのような役割を果たしていたか、物資輸送のためにどのような船が使われていたかなどについて話をしました。



現在の伊佐津の様子



近くに祀られている水神様

○かすみがうら市立七会小学校 5年生

実施時期：平成29年12月8日（金）

調査場所：雪入ふれあいの里公園（雪入川源流，かすみがうら市）→新治橋（天の川中流，かすみ
がうら市新治）→愛郷橋（恋瀬川下流，石岡市高浜）

七会小学校の河川学習では、水辺のすこやかさ指標を用いた河川調査の他に、毎年、雪入ふれあいの里公園の川崎先生にご一緒いただき、野鳥の観察も併せて行っています。今年も双眼鏡を使って自分たちで見つれたり、川崎先生が見つけた野鳥をバードスコープで覗かせてもらったりしながら、ヒヨドリ、ホオジロ、ハシブトガラス、トンビ、カワラヒワ、タヒバリ、カルガモ、マガモ、カワウ、ノスリ、シジュウカラなど、多くの野鳥を観察することができました。



透視度測定の様子



野鳥の観察の様子

○土浦市立真鍋小学校 5年生

実施時期：平成29年12月12日（火）・13日（水）・14日（木）・15日（金）・19日（火）

調査場所：筑波山神社わき（男女川源流（桜川支流），つくば市筑波）→北条堰（桜川中流，つくば
市国松）→土浦橋（桜川下流，土浦市千束町）

真鍋小学校はクラス数が多いため、1クラスずつの5日間に渡って河川学習を行いました。雨に降られることもなく、無事に全クラス行うことができました。男女川源流付近の観察では、しばらく雨が降っていなかったこともあり、水量がとても少ない状況でしたが、清流に棲む代表的な生き物であるサワガニ、カゲロウの幼虫、ナミウズムシを観察することができました。

桜川の中流である、北条堰では、春から夏の時期は下りることができない河川敷まで降り、5年生理科「流れる水のはたらき」の学習内容と関連付けながら、浸食の様子や河原に落ちている石の様子などを観察しました。



男女川で採取したナミウズムシ



北条堰での水辺のすこやかさ調査の様子

○石岡市立瓦会小学校 4年生

実施時期：平成30年1月16日（火）

調査場所：鳴滝（恋瀬川源流，石岡市瓦谷）→五輪堂橋（恋瀬川中流，かすみがうら市高倉，石岡市半田）→愛郷橋（恋瀬桜川下流，石岡市高浜）

恋瀬川源流の観察では，細い山道をマイクロバスで登り，鳴滝に行きました。山深い場所にあるにも関わらず，児童全員が一度は行ったことがあるということで，地域住民に日頃から親しまれている場所であることがわかりました。生き物の観察では，やはり水質がきれいな場所であることから，サワガニやカワゲラの幼虫，カゲロウの幼虫を観察することができました。

中流の五輪堂橋では，水量が少なかったため川原まで下り，水辺のすこやかさ調査を行うことができました。生き物の観察では，泥が多く，一見，魚が採取できなそうな場所でしたが，ヌマチチブ，ヨシノボリ，ウキゴリなどのハゼ類を観察することができました。



鳴滝



五輪堂橋での生き物の観察

○鉾田市立白鳥西小学校 5年生

実施時期：平成30年1月18日（木）

調査場所：愛宕山（巴川源流，笠間市）→小美玉温泉ことぶき（巴川中流，小美玉市上吉影）→串挽（巴川下流，鉾田市）

巴川の河川学習では，源流のある笠間市の愛宕山が天狗ゆかりの地であることや，山頂に日本三大防火神社の一つである愛宕神社が建立されていることから，まずは300段もある急な階段を上って，天狗が祀られている飯綱神社と愛宕神社を見学しました。

その後，今度は駐車場から斜面を下り，巴川源流橋で観察を行いました。巴川の源流はとても水量が少ない状態でしたが，カワゲラの幼虫，カゲロウの幼虫，ヨコエビを見つけることができました。

小美玉温泉ことぶき近くの巴川中流，銚田市串挽の巴川下流では，前日の雨の影響で水量がやや多く，COD値が5以上と高めでした。



愛宕神社の階段



巴川源流



巴川中流での観察の様子